

ひとりひとり自分らしく 個性と個性が生み出す調和
ハーモニー

市民活動課（内線357）

「私らしく」生きるために

市は駄知小学校の6年生を対象に、男女共同参画推進の出前講座を開催しました。講師には、ジェンダーの専門家・立石直子教授（愛知大学）をお招きし、「ありのままの私でいるために、知ってほしいこと」をテーマにお話しいただきました。

講座では、性別による偏見や制約を見つめ直し、「私らしく」生きるための気づきを共有しました。児童からは、「社会がジェンダー平等に近づき、みんなが『ありのまま』で過ごせると良い」「性別に関係なく人を好きになって、好きな仕事を選べる社会になってほしい」という感想が寄せられました。

今回の講座は、子供たちが性別にとらわれない多様な考えに触れ、平等な社会への理解を深める貴重な機会になりました。

市は、今後も全ての人々が互いに尊重し合える社会を目指し、取り組みを進めます。



小さな一歩が大きなアクションに
今日から始めよう SDGs

政策推進課（内線514）

土岐市の最先端技術



SDGsの目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」は、強靱なインフラを整備し、イノベーションの拡大を図ることで社会の課題を解決し、豊かな暮らしを守るための目標です。

土岐市には、世界最高水準のエネルギー研究拠点「核融合科学研究所」があることをご存じでしょうか。ここで2025年、AIベンチャー企業と連携し、核融合に欠かせないプラズマをAIで制御しようとする試みが行われました。AIエンジニアと核融合研究者とのタッグにより実現したものです。AIによって、核融合をはじめとする先端科学技術分野の研究開発を加速させることができるという期待につながる好事例となりました。

こうした最先端のAI技術や研究が「技術革新」の基盤となります。土岐市で実践された最新技術が、持続可能な未来の社会をつくるかもしれません。

 取り組んでみよう
 核融合科学研究所について調べてみよう。

土岐商写真部×広報とき

土岐の写真を撮り隊

Vol. 33 「初雪」

冷たい風が身に染みる
 季節になりました。

今年に入って初雪も見られ、
 とても冬を感じられますね。

まだまだ寒さが続きますが、
 こたつで温まり、
 体調を崩さないよう
 気をつけましょう。

撮影班：二年

長瀬紗和・伊佐治妃那
 田中リエンアーカ

（1月2日撮影）